

Q. 町内会組織の維持のための施策を

A. 町内会に関する対策を検討している



内田大治

ここを聞きました

- 健康づくり事業について
- 地域コミュニティ、町内会組織について

健康づくりについて

内田 超高齢化社会を迎え、高齢化しても健康に過ごすことができ... 健康づくり活動を展開している。

健康福祉部長 平成26年における平均寿命は男性80・4歳、女性86歳である。

画に基づき、各種検診、特定検診、保健師による家庭訪問、健康教室など母子保健から介護予防と幅広く事業を行っている。また、愛育委員、栄養委員による地域に密着した健康づくり活動を展開している。

地域コミュニティ・町内会組織について

内田 少子高齢化、人口減少により10戸以下の町内会が43%あり、組織の維持・活動に限界が生じている。現状をどのように認識しているのか。

市長 町内会に関する対策を検討している。課題を解決する仕掛けが必要で、各町内会の課題や困りごとをまとめてメニュー化する。

Q. 川面・巨瀬・中井の生活福祉バス運行時間と運賃の見直しを

A. 総合的な判断の中で対応したい



三村靖行

ここを聞きました

- 公共交通について
- 吉備国際大学との連携について
- 高齢者対策について

公共交通について

三村 川面・巨瀬・中井地区の生活福祉バスは本格運行開始から半年を経過したが利用率が非常に低い。原因は運行時間と運賃にある。

早急に見直しができないか。

高齢者対策について

三村 本市の面積は広く大半が中山間地域である。一人暮らしの高齢者も多く、安否確認は地域住民の関心事でもある。市民に密着したサービスを

行っているJ.A.郵便局、生協との「見守り協定」を締結することは可能か。

健康福祉部長 本市でも、見守りや声掛けの協定を考えている。道路の異常、不法投棄、子供の見守りも含め包括的な協定も検討している。

Q. 幼稚園の預かり保育時間を30分延長できないか

A. ニーズ調査を踏まえ早急に対応する



宮田公人

ここを聞きました

- 全国学力・学習状況調査結果を子供たちの学力向上と学習状況改善に向けてどのように生かしていくのか
- 幼稚園の預かり保育の時間延長について
- ごみ焼却施設の現状と更新に向けた今後の方針について
- 旧「ゆ・ら・ら」と周辺施設との相乗効果を生かした神原スポーツ公園エリアの再生について

幼稚園の預かり保育時間延長について

宮田 小学校就学前の子どもの保育については、ライフスタイルの変化により幼稚園よりも保育園を選ぶ家庭が圧倒的に多い。周辺部の幼稚園では、最終の預かり時刻が午後5時30分であるため、共働き世帯では子どもを迎えに行く事が難しい。このために、やむなく

保育園を選ぶというケースがある。現在の時刻から30分延長できれば地元の幼稚園に子どもを預けることができる家庭が増えると思うが対応はできないか。

健康福祉部長 現在、預かり担当職員を9名配置し、教員と預かり担当職員の時間外勤務で対応している。これには恒常的な保育士不足も影響している。今後さまざまな検討をしなければならぬ時期に入ってきたと考える。



Q. 空き家を市営住宅として活用しては

A. メリットデメリットを見つつ検討する



石井聡美

ここを聞きました

- 定住対策について
- 雇用対策について
- 教育のICT化について

移住者が訪れやすい基盤整備を

石井 移住者が気軽に高梁での暮らしを体験できる「お試し住宅」を各地域に作ったほうがいいのかはないか。

市民生活部長 市営住宅などの公営住宅をそういったことに活用しようとするハードルがある。それをどう乗り越えていくか、検討を進めていきたい。

公共交通中心のまちづくりを

石井 今後の公共交通整備は、車がなくても生活できるようにまちづくりを前提にすべきではないか。

市長 公共交通機関のあるところを中心に移住を考えていく方向性はあると思っている。

市長 公共交通機関のあるところを中心に移住を考えていく方向性はあると思っている。